

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
1	防災マップを市民に配り、地域で防災訓練を行ってほしい。	災害発生に備え、平成29年度に防災マップ、本年度は洪水ハザードマップを作成し全戸配布しています。また、市防災訓練を毎年各地区持ち回りで実施していますので、ぜひ参加してください。
2	防災マップをもっと分かりやすくしてほしい。	本年度、洪水ハザードマップを作成し、避難場所や避難所の場所等、災害に役立つ情報を記載していますので、ご覧ください。
3	森を今のまま残して、自然の中にツリーハウス、ホテル、温泉などを造ってほしい。	自然を守ることはとても大切です。ホテルや温泉などの建設は民間事業者の取り組みになりますので、状況を見守っていきます。
4	テーマパークを造ってほしい。	若い人が楽しめるような施設について、皆さんの意見をお聞きしたいと考えています。
5	チェリーランドは市の中心部から離れているので、場所を変えるなどの工夫をしてほしい。 チェリーランド河川敷公園のグラウンドの近くにきれいなトイレを造ってほしい。	現在、チェリーランド再整備計画を策定しています。これまで以上に多くの方が訪れるような魅力ある施設にしたいと考えています。
6	森や山、川をもっときれいに大切に、それらを生かして市をPRしてほしい。 サクランボのもぎ取り体験など、寒河江市でしかできない体験のCMを作してほしい。 寒河江市のことを良く知ることができるスマートフォンのアプリを作してほしい。	寒河江市には、自然や農作物など全国に誇れるものがたくさんあります。インターネットなどを活用したPRやCM制作などを検討していきます。
7	勉強するときに近くにあると便利なので、涼める場所を造ってほしい。	フローラ・SAGAE 4階に学習支援室を整備しましたので利用してください。
8	雨の日などでも遊べる施設を増やし、Wi-Fiなどの通信環境を整えてほしい。 子どもが遊べる施設を増やしてほしい。 年齢に関係なく遊べる場所を増やしてほしい。 室内で子どもたちが遊べる施設や談話ができる場所を造ってほしい。 たくさんの人が無料で楽しめる公園や施設などを造ってほしい。	市では、屋内型遊戯施設をチェリーランドに造る予定です。いろいろな体験ができる施設となるよう進めています。また、市内には無料で楽しめる公園や施設がたくさんありますので、皆さんもお友達を誘って利用してください。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
9	J R 左沢線の運行本数を増やしてほしい。	運行本数や運行時間は、J R 東日本にお願いすることになります。機会をとらえて J R 東日本に話をしてみたいと思います。
10	運賃200円以内の図書館行きのバスを走らせてほしい。	皆さんが住んでいる地域から市立図書館に通う交通手段として、どんな方法があるか検討していきます。
11	寒河江市は笑顔がある街だと思う。	市民みんなが笑顔で生活できるよう進めていきます。
12	安心して住みやすい寒河江市をつくってほしい。	災害や事故がなく、安全で安心なまちづくりを進めていきます。
13	<p>お店や公民館の近くにごみ箱を設置してほしい。</p> <p>ごみが落ちていない市にしてほしい。</p> <p>みんながごみの分別をできるようになってほしい。</p>	<p>ごみ箱はきちんと管理しないと、家庭用のごみを捨てられたり除雪の障害になったりしますので設置していません。ごみは持ち帰るようにしましょう。また、市内全域で年2回のクリーン作戦、町会内のごみ拾い、清掃活動を行っています。</p> <p>皆さんもぜひ参加してください。</p> <p>ごみをリサイクルし有効活用するために、市ではごみを6種類に分別してもらい収集しています。詳しい分け方は、市ホームページや家庭ごみ収集日程表、ごみの分け方出し方の冊子に掲載していますので、ご覧ください。みんなで協力し、ごみの落ちていないきれいな寒河江市にしましょう。</p>
14	高齢者の免許返納を促してほしい。	高齢者の自動車事故を1件でも少なくするために、市では「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を平成29年度から始めています。この事業では免許を返納された方へバスやタクシー乗車券2万円分を交付していますが、乗車時に一律割り引く方法も検討したいと考えています。
15	醍醐小学校の校門前に横断歩道を作ってほしい。	横断歩道の新たな設置は、山形県警が行っています。山形県警に要望を出すには、この場所が良いのか判断しなければならないので、現場を確認し、先生方や地域の皆さんと相談したいと思います。
16	カーブミラーを増やしてほしい。	カーブミラーは、地域の交通安全活動をしている方々と相談しながら設置しています。通学路等で交通事故が心配されるような場所があれば、具体的に教えてください。地域の皆さんと相談して検討します。皆さん自身が交通事故に遭わないことが第一と考えています。
17	<p>街灯を設置してほしい。</p> <p>街灯を増やしてほしい。</p>	地域の方と相談しながら新しく防犯街路灯（街灯）の設置をしていきたいと考えています。
18	主要地方道寒河江村山線に街灯や信号を増やしてほしい。	主要地方道寒河江村山線の街灯は、道路を管理している山形県が設置しています。また、信号機の管理や新しい設置は、山形県警が行っています。交通量や歩行者数などから、信号機の新しい設置場所が決められるようです。山形県と山形県警に要望していきたいと考えています。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
19	白岩バイパスの上野の横断歩道に押しボタン信号を付け、歩道を除雪して通学路の安全を確保してほしい。	信号機の管理や新しい設置は、山形県警が行っています。交通量や歩行者数などから、信号機の新しい設置場所が決められるようです。なお、この場所については小学校PTAや町会長などから、地域みんなの意見として信号機の設置要望がされていますので、市でも要望していきたいと考えています。また、国道112号線の歩道の除雪については、国土交通省が行っています。皆さんの要望を伝えて、除雪してもらえよう相談していきます。
20	交通事故や犯罪が起きない、夜でも安心な街にしてほしい。	皆さんの住む地域の安全な生活を守るために、交番の警察官だけでなく、パトカーでの巡回などをしながら、寒河江署の警察官全員が常に皆さんのことを見守っています。また、各地区では、防犯対策として青色防犯パトロール等、さまざまな取り組みが行われています。市でも各地区の防犯協会と協力して、危険な場所を見つけたら改善していきたいと思えます。
21	防犯カメラを増やしてほしい。 防犯カメラを街中に付けてほしい。	防犯カメラについては、市施設や学校への取り付けを進めて、施設管理や施設内の不審者対策をしています。街中に防犯カメラを設置して犯罪や行方不明者等の手掛かりにすることは、大変有効と考えていますので、今後、検討していきたいと思えます。
22	植物を増やしてほしい。 ツツジを市の有名な所に植えてきれいにしてほしい。	市では、町内会の皆さんにお手伝いいただきながら、道路沿いに花を植えています。また、ツツジなどを新たに植えるときは、皆さんの要望などを伺い、花と緑があふれる魅力ある街となるよう取り組んでいきます。
23	空き家をスポーツ場にしてほしい。 空き家を利用して老人ホームや病院、アパートなどを造ってほしい。 空き家を活用した産直販売所と農家レストランを造ってほしい。	空き家にはそれぞれ所有者がいます。建物が壊れたりしないように所有者が責任をもって管理しなければなりません。空き家の活用方法について、所有者と連絡を取りながら、有効に使うよう取り組んでいきます。また、市では、空き家や空き店舗を利用して新しいお店を造る場合にお金を補助して応援しています。本年度は空き店舗を利用して、飲食店や美容室、クレーンゲームやさまざまなおもちゃで遊べるお店など7軒の新しいお店ができました。これからもいろいろなお店ができるように支援していきます。
24	水辺の楽校でイベントを行ってほしい。	管理していただいている地元の皆さんと相談しながら、もっとたくさんの人に活用してもらえよう検討していきます。
25	川をきれいにしてほしい。	川をきれいにするためには、皆さんの協力も必要です。多くの皆さんに川に親しんでもらえよう管理しています。
26	堤防を造ってほしい。	皆さんの住んでいる家の地域に川の水が流れ込まないように堤防が設置してあり、危険な場所がないか点検を行っています。危険な場所がある場合、川の管理者である国や山形県とも相談していきます。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
27	町おこしのために、自然を生かして山などにアスレチックや公園を造ってほしい。 公園を増やしてほしい。	現在市内には、市が管理しているものだけでも130カ所近くの公園があり、いろいろな施設や遊具が設置されています。遊具の設置なども含めて、皆さんのご要望を伺いながら、より魅力的な公園づくりに取り組んでいきます。
28	公園に木を植えて日陰をつくってほしい。	公園への植樹については、落ち葉の清掃などの管理が必要になります。地域の皆さんと相談しながら、より緑豊かで魅力的な公園になるよう取り組んでいきます。
29	公園に遊具を設置してほしい。	市では、地域の方々の要望などを伺い、多くの皆さんが満足できる魅力ある公園になるよう取り組んでいます。市内にはいろいろな施設がある公園がありますので、皆さんも体を動かし、たくさん利用してください。
30	公園のトイレを新しくしてほしい。	公園のトイレについては、皆さんが気持ちよく使えるよう、町内会などからお手伝いいただきながら清掃などを行っています。トイレの建て替えについては、利用状況なども考えて検討していきます。
31	公園をきれいにし、遊具を増やしてほしい。	市では、皆さんの要望などを伺い、多くの皆さんが満足できる魅力ある公園になるよう取り組んでいます。公園の施設については、点検をしながら順番を決めて、修理・更新を行っています。
32	歩道と車道の間に柵を付けてほしい。	横断歩道のある交差点については、車止めの設置等を検討していきます。
33	車いすで生活している人や障がいがある人でも安心して通れる道を造ってほしい。	市では、町内会等からの要望を伺いながら、歩道整備や公共施設の維持管理に取り組んでいます。今後も皆さんからのご意見を伺い、暮らしやすい街となるよう取り組んでいきます。
34	八幡原跨線橋の階段にスロープを付けて自転車が通れるようにしてほしい。	当路線については県の管轄となりますので、階段の管理者である山形県に要望していきます。
35	農業をする人を増やし、サクランボの生産量を減らさないでほしい。	全国的に農業をする人は減っていて、本市でも例外ではありません。しかし、最新の調査で、農業を新規で始めた人が22人と、今までになく増えている状況です。本市では、これからも法人化の促進や経営強化、就農段階に応じた支援策を展開し、新規就農者の拡大に努め、サクランボを中心とした農産物の生産量を増やしていきたいと考えています。皆さんの中にも将来サクランボや野菜を作っていきたい人がいれば、市は応援します。
36	サクランボ、ラ・フランス、お米をさらに有名にしたい。	サクランボやラ・フランスはおいしいですが、食べられる時期は短いので、1年中アイスやお菓子などいろいろな形でおいしく食べられるような商品開発を応援したいと思っています。
37	サクランボを試食する体験会を行ったり、観光客にプレゼントしたりしてほしい。	市内には多くの観光サクランボ園があり、6月に開園すると、サクランボ狩りを楽しむために多くの観光客が寒河江市に来て、収穫体験やお腹いっぱいサクランボを食べたりしています。市でも多くの観光客が来てもらえるよう、いろいろなイベントをしています。そして、もう一度寒河江市に来たいと思ってもらえ、お土産を食べた人が寒河江市に行ってみたいと思えるような、おいしいサクランボを農家の皆さんが作れるように、市では応援をしています。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
38	学校でサクランボの木を育てたい。	サクランボ栽培を市内の小学生みんなが勉強して、将来のサクランボ生産を支える農家になってみたいと思うような環境づくりはとても大事だと考えています。サクランボの木を育て、維持・管理していくことは非常に大変で、学校の中だけではなかなか対応が難しく、さまざまな側面から検討が必要です。日頃の学習の中でサクランボのことをより深く理解できるように方法についても考えていきます。
39	若者が働ける場所をつくってほしい。 就職できる場所を増やしてほしい。	若者が市内で働ける場所を増やすため、中央工業団地に会社が進出してもらえるよう、たくさんの会社をお願いをしています。寒河江市には良い会社がありますので、大人になったらぜひ市内の会社で働いてください。
40	イオンモールを造ってほしい。 スーパーマーケットを増やしてほしい。 高速道路の出口にショッピングモールを造ってほしい。 寒河江市にしか無いような商業施設を造ってほしい。 ゲームセンターを造ってほしい。 各地区にコンビニエンスストアを造ってほしい。 ラウンドワンを造ってほしい。	皆さんから提案のあったお店は、民間企業の取り組みとなりますので、そういう施設が来たくなるような活気あるまちづくりを目指しています。さらに、市では若い人などがお店を出すときに応援したり、すてきな商品の開発やPRに対して支援をしています。
41	AED（自動体外式除細動器）をいろいろなお店に付けてほしい。	市の施設をはじめ、お店でAEDを設置している所はありますが、もっと設置してもらえようお店にお願いしたいと思います。
42	サクランボで食べ物や生活用品をつくってほしい。	市内のお店でサクランボを使ったお菓子を作っていますが、もっと新商品を作ってもらえるように、市でも応援していきたいと思います。
43	中央通りや駅前商店街をもっと明るく活気があるようにしてほしい。	空いている建物を使って新しいお店を造る場合に、お金を補助する制度がありますので、お店が増えて活気ができるようにしていきたいと思います。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
44	寒河江まつりのような大人から子どもまで楽しめるイベントを増やしてほしい。	春は桜とツツジ、初夏はサクランボ、秋は寒河江まつり、冬は雪フェスティバルなど、寒河江市の特色を生かした四季折々の行事を開催しています。これからも皆さんが楽しめるイベントを考えていきます。
	ラーメンなどの麺が有名なので、麺合戦をしてほしい。	
	寒河江市のみんなが参加できるイベントや夏祭りを増やしてほしい。	
	夏フェスティバルを開催してほしい。	
	サクランボの種とばし全国大会を寒河江市で行ってほしい。	
	サクランボとり大会をいろいろな地区で行ってほしい。	
45	さくらんぼの祭典をもっとにぎやかにしてほしい。	サクランボをたくさん味わって喜んでいただけるような祭典になるよう検討していきます。
46	寒河江まつりや雪フェスティバルなどでキッズスタッフを募集して、お店を出したり手伝ったりできるようにしてほしい。	子どもたちに参加していただき、よりよいイベントになるよう努めていきます。
47	慈恩寺活性化センターや新設されるガイダンス施設に、私たちが作ったパンフレットなどを設置してほしい。	慈恩寺ガイダンス施設には、パンフレットなどを置けるスペースや、軽食コーナーを作る予定です。慈恩寺を訪れた方々が楽しくなるようなパンフレットが出来上がることを、楽しみに待っています。
48	公共の場でたばこを吸うことが少なくなってほしい。	健康増進法の一部改正により、多くの人が利用する全ての施設において、原則屋内禁煙になります。すでに病院や学校、市役所などは昨年7月から敷地内禁煙になっています。また、4月からホテルや工場、飲食店等も原則屋内禁煙になります。
49	市内をバリアフリー化してほしい。	皆さんが障がいの有無に関わらず、公共施設を便利に安心して利用できるよう管理運営に取り組んでいます。本年度は、市民文化会館のトイレ改修や西部地区公民館の渡り廊下の段差解消などを行いました。今後も障がい者や高齢者がより快適に利用していただけるよう施設の改善に努めていきます。
	スロープをいろいろな場所に付けてほしい。	
	障がい者のための設備の設置や理解を増やしてほしい。	
	バリアフリーの施設を造ってほしい。	
	公共施設のバリアフリーを進めてほしい。	

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
50	お年寄りの方と交流できる場をつくってほしい。	お年寄りの方と交流していろいろな話をお聞きすることは、これからの生活にとっても役に立つ大事なことだと思います。触れ合うには、老人ホームなどに相談して、実際に行ってみるのも良いと思いますが、老人クラブなど地域の中で過ごしている元気なお年寄りの方々から、学校に来てもらいお話を聞かせてもらうこともできると思います。中学生になったときには、職場体験などで老人ホームで過ごすお年寄りの方と触れ合える機会が出てきますので、積極的に交流をしてもらいたいと思います。
51	子どもやお母さんへの支援を充実させてほしい。	子育て中のお母さんやお父さんの相談を受け支援する窓口として、ハートフルセンターに「子育て支援包括支援センター」や「家庭相談室」、ゆめはーと寒河江に「子育て支援センター」などがありますので、一度相談してみてください。
52	なか保育所のような、隣に小児科がある保育所を造ってほしい。 保育所を増やしてほしい。	安心して預けられる保育所や幼稚園などの整備は、市の人口を増やしていくためにはとても大事なことです。0歳児から預けられる保育所も増えてきています。また、子どもが病気になっても仕事の都合でどうしても休めないという保護者が安心して預けられる、病児保育・病後児保育などの制度があります。
53	いじめをなくすための取り組みをしてほしい。 いじめをなくすために「いじめ防止条例」を作してほしい。	市では「いじめ防止対策の推進に関する条例」や「いじめ防止基本方針」を定め、いじめの防止等のための対策を推進しています。また、各小中学校においても「学校がいじめ防止基本方針」を定めて実行しています。いじめの未然防止や早期発見を考えたときに、皆さんの声がとても大切になります。アンケートや先生との面談の機会を設定することで、皆さんの思いやSOSが伝えやすいように工夫をしていきます。これらに加え、皆さんにも、自分や誰かが困っているときに、友達や先生、保護者の方に対して声を掛けてもらえれば幸いです。皆さんに関心をもって積極的に関わってもらうことで、いじめをなくしていけると考えます。いじめのない安心安全な学校づくりをこれからも進めていきますので、協力をお願いします。
54	体育館や昇降口の階段の端が割れているので修理してほしい。	学校生活の中で危険が及ぶ所については、修理していきます。
55	学校の照明をつるさず天井に付けてほしい。	体育館の照明などは、地震などがあっても落下したりしないような処置が施されています。教室の照明については、安全性に問題がないかを確認しながら、対応について検討していきます。
56	南部小学校の音楽室のカーペットを交換してほしい。 南部小学校の音楽室をフローリングにしてほしい。	音楽室のカーペットについては、設置から長い年月が経過しており、あまり良い状態ではありませんので、衛生面・安全面を考えながら、気持ちよく学習できるような環境となるよう対応します。
57	学校のトイレを新しくしてほしい。 学校のトイレの床をきれいにしてほしい。	安心してトイレが使用できるように、今後検討していきます。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙（小学校）

番号	意見・提案内容	回答
58	学校の昇降口などをバリアフリー化してほしい。	体の不自由な方等が学校施設の中で不都合を感じる場所について確認し、どのような対応ができるのかも含めて検討し、対応していきます。
59	電子黒板を教室に1台設置してほしい。	電子黒板を使った授業は、これからますます増えてくると思うので、電子黒板の数を増やしていきたいと思います。
60	学校のプールに屋根を付けてほしい。	今あるプールに屋根を付けることは、さまざまな観点から簡単なことではありませんが、プールを少しでもきれいな状態にして水泳に集中できるよう、対策を考えていきます。
61	市立図書館の開館時間を延ばして、読書を勧めてほしい。	市立図書館は、月曜日から土曜日までは午後7時30分まで開館しており、仕事帰りの方も多く利用しています。また、日曜日と祝日は少し早まり、午後5時までの開館としており、特に親子連れを含む多くのお子さんが利用しています。思いやりの心を育てるために、できるだけ早いうちから読書に親しむことが大切であり、今後も読書を積極的に勧めていきたいと思います。
62	図書館か移動図書館を造ってほしい。	市立図書館では、図書館から遠い地域の南部・柴橋・西部の各地区公民館に貸し出し場を設けています。その地区に関する資料なども見ることができますので、ぜひ利用してみてください。また、調べ物については、専門的な図書が必要なとき、学校を通して市立図書館の本を提供できる場合がありますので、学校の読書活動推進員に相談してみてください。
63	化石発掘体験などを行いたい。	市内の小学生を対象にさまざまな体験活動を行う放課後子ども教室を各地区の公民館で開催しています。化石発掘についても、体験活動のプログラムの一つとして検討していきたいと思います。また、化石を採集できる場所は限られていますので、観光客対象ではなく、寒河江市の未来を担う小学生の皆さんに優先して体験していただきたいと考えています。
64	各地区に体育館を造ってほしい。	現在、柴橋地区公民館に新しい体育館を造っています。皆さんの住まいの近くに体育施設（体育館等）がたくさんあることは望ましいことですが、体育施設の他にも整備しなければならない施設がたくさんあるので、優先順位などを考えながら、どのように整備していくか話し合いを進めているところです。
65	ジムを造ってほしい。	市民体育館にはトレーニングルーム（ジム）がありますが、使い方を誤ると事故やけがにつながるような器具もあるため、利用は中学生以上としています。ジムの他にもさまざまなスポーツ施設や小学生向けのスポーツ教室などもありますので利用していただきたいと思います。
66	寒河江市のみんなで大運動会をしたい。	実施しているさまざまなスポーツイベントの中には小学生が参加できるイベントもありますので、皆さんからたくさん参加していただき、交流を深めてもらいたいと思います。
67	お医者さんを増やしてほしい。	寒河江市では、昨年2つの医院（開業医）が増えました。市の人口を減らさないようにしたり街並みを整備したりして、医者が寒河江市に開業したくなる環境をつくりたいと思います。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
1	寒河江の農業や伝統をPRするため、CMやパンフレットを制作する。出演者がいなければ、中学校で協力します。	寒河江市には、自然や農作物など全国に誇れるものがたくさんあります。インターネットなどを活用したPRやCM制作などを検討していきます。イベントについては、CMを放映するほかパンフレットも制作し、広報に努めています。協力をお願いすることがあるかもしれませんが、今後も、より効果のある手段を検討し、観光客を増やしていきます。
2	新しく農業を始める人には市から一部補助金を出し、農業法人が増えるように市から手助けをし、小・中・高生でも参加できるようなボランティア活動を行って、若い人が農業に取り組みやすくする。	全国的に農業をする人は減っていて、本市でも例外ではありません。しかし、最新の調査で、農業を新規で始めた人が22人と、今までになく増えている状況です。本市では、これからも法人化の促進や経営強化、就農段階に応じた支援策を展開し、新規就農者の拡大に努め、農産物の生産量を増やしていきたいと考えています。また、小さいときから農業体験することは非常に大切ですので、ぜひ農業の手伝いやボランティア活動を積極的にしていただき、農業の素晴らしさを肌で感じ取ってもらえればと考えています。
3	若者が農業に興味を持ちやすくするため、1年を通していろいろな農業体験ができるようにする。春から夏にかけては、サクランボ狩りと田植えが体験できる場所を増やす。秋には、稲を収穫できる場所をつくる。	本市には約300カ所の観光サクランボ園があり、収穫時の人手不足から多くの農園で作業者を募集しており、市でも労働力確保の一環で大学生などのボランティア募集を行っています。また、田植えや稲刈りといった作業は機械化が進んでおり、一般の方が体験することは困難ですが、つや姫ヴィラージュではサポーターを募り、昔ながらの手作業による春の田植え・秋の稲刈りのイベントを行っています。南部と西根の2カ所の市民農園「ふれあい農園」では、年間を通して野菜作りなどを体験することができ、市内の方なら誰でも借りることができるので、多くの若者や子育て世代の方に利用してもらい、農業の魅力を感じてもらいたいと思います。
4	寒河江の空き地を利用し、若者に人気がある、ボウリングやカラオケを含んだ複合型の大型商業施設を設置する。県外の人にも来てくれると思う。	提案のあったお店は、民間企業の取り組みとなりますので、そういう施設が来なくなるような活気あるまちづくりを目指しています。さらに市では、若い人などがお店を出すときに応援したり、すてきな商品の開発やPRに対して支援をしています。
5	地元の店を支援しながら、芸能人を呼んだり音楽フェスなどを開催したりするイベントホールを設置し、フローラ・SAGAEにさまざまな種類のお店を入れて、ホームページやSNS、CMで宣伝する。	地元の店への支援については、新しい補助制度を創設して、販売促進が図られるようにしていきます。フローラ・SAGAEについては、テナント誘致を進めるとともに、幅広い年齢層の方にご利用いただける施設を目指して、設備や機能を充実させていきます。また、イベントについては「さくらんぼの祭典」「寒河江まつり」「やまがた雪フェスティバル」「ちえり〜マルシェ」など年間を通じてイベントを開催し、SNSで情報発信をしています。
6	商業施設を中心に整備し、より充実し、どの年代の人々も利用できるものにする。フローラ・SAGAEの空スペースに服や雑貨の店を増やしたり、ゲーム機の増設など。	現在のフローラ・SAGAEには、若い人たちが楽しめるようなお店が少ないので、空いているスペースに新しいお店が来てくれるようにPRをしていきます。
7	フローラ・SAGAEの地下1階を、おばけ屋敷や映画館、憩いの場所にする。改装費用は、他イベントの花火などを中止してまかなう。	もっと多くの方からフローラ・SAGAEに来ていただけるように、イベントの開催や施設機能の充実を図っていきます。

令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
8	<p>パチンコ屋をつぶして大型の商業施設を建設し、どんどん利益を上げる。</p> <p>パチンコ屋をつぶして大型商業施設を建てる。</p> <p>パチンコ屋で就労している人もいるので、建物はそのままに、パチンコ屋とほかの娯楽施設が入った複合娯楽施設にする。</p>	<p>パチンコ店は市が所有している建物ではありませんので、壊したり違う施設に建て替えたりを市が行うことはできませんが、市内に新しい商業施設が進出したくなるようなまちづくりを進めていきます。</p>
9	<p>流行にのった店を増やし、親子で楽しめる公園や保育園などを充実させて、若者が住みたくなる街づくりをする。また、高齢者の方のために、冬場の除雪など配慮する。</p>	<p>市では、空き店舗などを活用して新しいお店をつくる場合に改装費用や家賃を補助し、若者が利用しやすくなるような流行のお店などが市内に出店しやすくなるように応援しています。公園施設については、皆さんが安心して遊べるよう、遊具の更新や修繕などに取り組んでいます。今後も、地域の皆さんの要望を伺いながら、安心して遊べる、親子で楽しめる公園づくりに取り組んでいきます。また、除雪については、除雪車に搭載したスマートフォンを活用し、高齢かつ介護が必要など、条件に該当する世帯に配慮した除雪作業を行っていますが、さらに有効な方法についても検討していきます。</p>
10	<p>バラを使って地域活性化を図る。バラを使ったアイスや紅茶、クッキーなどを作り販売し、各温泉にバラ風呂を設置する。</p>	<p>バラを使ったアイスは、以前さくらんぼ会館で販売していましたが、現在は販売していません。ただし、先日行った「復活してほしいアイスランキング」で上位に入ったので、今後、期間限定で復活する予定です。また、バラ風呂については、市内の温泉旅館でご予約いただければ入浴可能です。</p>
11	<p>若者が行きたくなる店やスポーツ施設、遊べる公園の充実などを行う。</p>	<p>市では、空き店舗などを活用して新しいお店をつくる場合に改装費用や家賃を補助し、若者が利用しやすくなるようなお店などが市内に出店しやすくなるように応援しています。また、スポーツ施設を充実していくことは、市民の健康や豊かな生活に繋がる重要な要素の一つと考えていますが、他にも整備しなければならない施設がたくさんあるので、優先順位などを考えながら、どのように整備していくか話し合いを進めています。公園については、市が管理しているものだけでも130カ所近くあります。グリバーさがえは、カヌーなどのほか、ボールを使った遊びも安全に楽しめる公園となっています。最上川ふるさと総合公園には、たくさんの複合遊具があり、幅広い世代の方が楽しめる公園となっていますので、皆さんもぜひ利用してください。</p>
12	<p>大学卒業後に寒河江に戻ってくる人が増えるように、若者に人気の職業施設を増やす。</p>	<p>若者の地元定着を進めていくためには、魅力的な職場の確保が必要です。働きやすくて若者に魅力のある職場が市内にあれば、安心して寒河江市に住み続けることができますし、職場と家が近ければ通勤時間が少なくてすむため、時間を有効に使うことができますので、市としては若者が働きたくなるような企業に進出してもらえるよう企業誘致活動を頑張っていきます。</p>
13	<p>どの世代も楽しめる施設をつくる。天童にある商業施設行き、寒河江発のバスをつくる。</p>	<p>ショッピングモールなど魅力ある民間企業が、寒河江市に施設を建設したくなるような活気あるまちづくりを進めていきます。</p>

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
14	寒河江の有名なものをPRして観光客を増やし、税金を上げる。増加した税金分は、バスや衣料品、公園、体育館など、年齢関係なく使えるものや施設の増設に充てる。	寒河江市にはサクランボをはじめとして、よそに誇れるものがたくさんあります。また、子姫芋など、よそにはあまり知られていない、でも素晴らしい産品も数多くあります。こういう良いものを市外にPRして交流人口（観光客）を増やすような取り組みを、これからも進めていきます。施設については、増やせば運営や管理をする経費もたくさんかかりますので、単純に増やすよりは、現在の施設をリニューアルしてみんなが使える施設にしたり、2つの施設と機能を合わせて1つにしたり（複合化）することなどを検討し、年齢に関係なく使える施設にしていくことが重要と考えています。
15	寒河江をPRしたパンフレットを、世界のさまざまな言語で制作し、市内観光スタンプラリーを実施する。市内各所にスタンプ台を設置し、スタンプを集めたら市役所で「ミニ観光大使」の賞状と市の特産物がもらえるようにする。参加賞としてチェリンが描かれたティッシュ（夏はうちわ）を渡す。	本年度、気軽に市内の観光地（慈恩寺、チェリーランド、葉山市民荘等）を巡ることができるサイクリングコースを設け、パンフレットを製作しました。提言を参考に、魅力ある観光事業にしていきたいと考えています。
16	写真映えのするスポットなどを設置し、流行を取り入れた、繰り返し訪れたいくなるチェリーランドにする。	現在、チェリーランド再整備計画を策定しています。これまで以上に多くの人を訪れるような魅力ある施設にしたいと考えています。
17	産業や観光スポットをPRし、インスタ映えを目指す。	やまがた雪フェスティバルで実施しているイルミネーションでは、インスタ映えスポットを設けていますが、今後、さくらんぼの祭典等においてもスポットを設けて、サクランボなどの産業・観光のPRに努めていきます。
18	市立図書館で、お茶会やフリーマーケット、著名人のトークショーなど、本を読みたくなるようなイベントを開催する。また、若者に運営を任せて、若者向けのイベントを開催する。	市立図書館では、幅広い世代の方々から利用していただけるよう各種イベントを開催しています。夏と冬には「さがえ図書館まつり」を開催し、中には小中高生を対象としたものもあります。ほかにも、子どもから大人まで楽しめる「読書講演会」や若いお母さんたちを対象とした「お話し室」などがあり、ボランティアの方々から運営のご協力もいただいています。また、来年度は、より多くの方々から読書を好きになってもらうよう、山形出身の若手作家によるトークショーを予定しています。提言を参考に、これからも魅力ある図書館となるよう、さまざまな企画を考えていきます。
19	寄附を募ってグルメ大会を開催し、参加自由にするなどで活性化を図る。	食に関するイベントは「さくらんぼの祭典」「寒河江まつり」「やまがた雪フェスティバル」で行っていますが、提言を参考に、よりよいイベントづくりに役立てていきます。
20	市のPR動画をつくり、ユーチューブに市公式チャンネルを開設して配信する。大物ユーチューバーとコラボして、無償で市の宣伝をしてもらう。	市では、ふるさとCM大賞などのPR動画を公開していますので、ぜひ見てください。また、寒河江市をPRする動画の内容の具体的なアイデアがあれば提案してください。
21	慈恩寺でアニメを作成したり、高齢者と若い人の交流を深めるふれあいの場を設けたりして、世代の壁を越えて、県外の人も気軽に来ることができる、人が集まりやすい施設・環境をつくる。	慈恩寺の歴史や魅力を分かりやすく紹介するガイダンス施設を、令和3年春のオープンを目指して整備を進めています。プロジェクトンマッピングが投影される立体模型や、240度円形シアタールームなどを備え、若者も興味をもてるような迫力ある映像等で、慈恩寺の魅力を紹介する施設にする計画です。また、施設内には来館者が交流できるスペースや物販コーナーなども設置し、地域活性化の一翼を担う施設として整備していく予定です。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
22	子どもたちが体を精一杯動かせて、親も安心して遊べる、室内の大きな遊び場をつくり子どもが楽しめる街にする。最初に大きなお金を投資し、利用者を増やすことで元を取る。	市では、屋内型遊戯施設整備構想を策定し施設整備を進めています。多くの方から利用していただける施設にしたいと考えています。
23	子どもが孤独で苦しまないように、子どもに無料で食事提供をし、子どもが孤食する場面を減らす。	本市においても昨年10月から、みんなの居場所「フローラ食堂」がオープンしています。運営主体は特定非営利活動法人「やまがた絆の架け橋ネットワーク」で、フローラ・SAGA Eで毎月1回第3木曜日の夜に開催しています。参加には、事前申し込みが必要ですが、参加料は無料で、ひとり親世帯や両親が共働きで孤食になりがちな子どもたちに限らず、誰もが自由に参加できます。
24	認可保育所を増やす。	本市では、保育所等整備事業補助金として、認可保育所等の施設整備や改修等を支援しています。一定の施設基準や設備基準を満たすことで、安全・安心な保育環境と運営が図られることになり、昨年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、入所する児童は無償化の対象となります。今後も民間の保育事業者が施設整備を行う場合は、より有利な補助金等を活用し認可施設として設置できるよう指導していきます。
25	公園の設備を整え、市内に街灯を増設することで、人が集まる安全で活気あふれる街にする。	遊具や防犯街路灯の新設、公園のバリアフリー化については、地域の方と相談しながら、利用状況などを確認し、より暮らしやすく魅力的な街になるよう検討していきます。
26	寒河江の豊かな自然に触れ合い、豊かな心を育むため、ツリーハウスを設置する。周囲では四季折々の花が楽しめ、季節に応じたイベントを行い、水遊びできる小川も設置する。	市内には、いこいの森、チェリーランド、最上川ふるさと総合公園、グリバーさがえなど、自然と親しめる公園があります。各公園で季節に応じたイベントを実施していますので、ぜひ参加してください。
27	室内プールにウォータースライダーを付ける。	市民の皆さんが、それぞれの目的や興味、年齢、体力に応じて、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる環境を整備することは大変重要であり、温水プールもその一つと考えています。しかし、市全体の施設整備の優先順位や、温水プールを備えた市内の民間スポーツ施設のことなどもありますので、さまざまな視点から整備について考えていきます。
28	グラウンドの水はけをよくし、下駄箱や各教室にあるロッカーなど老朽化している木製のものを新しいちょうどいい大きさのものにして、学校環境を良くする。	グラウンドの水はけ改善については、長期間にわたる大規模な改修が必要となり、授業や部活の兼ね合いもあり、すぐに対応できるものではありませんが、少しでも水はけ改善につながるような対応を検討していきます。下駄箱やロッカーについては、老朽化やサイズが適当でないなどがありますが、安全かつ清潔で、使いやすくなるような改修を検討していきます。
29	水道管の入れ替えや、下駄箱やロッカーの更新、トイレの改修・増設と体育館へのクーラー設置・改修など、学校設備をよくする。	学校の水道水は定期的に検査を行い、安全であることを確認していますが、水がおいしくないとの声に、本年度、中学校校舎各階の水飲み場に1カ所ずつ浄水器を設置し、改善に取り組んでいます。下駄箱やロッカーは、安全かつ清潔で、使いやすくなるような改修を検討していきます。トイレは、建物の構造上、数を増やすことは難しいですが、清潔で快適なトイレとなるよう改善に努めていきます。体育館へのエアコン設置は、教室等のエアコン設置状況を踏まえながら総合的に検討していきます。体育館の天井の高さについては、建物の構造上、対応は難しく、今後の検討課題とさせていただきます。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
30	少子化を解決し、子どもたちが希望を持つために、学校を新しくする。	市では本年度から、市内小中学校の今後のあり方について協議する検討委員会を立ち上げ、学校や保護者、学識経験者、地域の方々などからご意見をお聞きし、今後の市内生徒数の推移を考慮しながら、学校適正規模や適正配置について検討を進めています。
31	犯罪の防止、事故の抑制につなげるため、暗いところの無いようLEDの街灯を増設する。	防犯街路灯（街灯）は、市内全部LEDに切り替えました。また、暗くなる所には、学校、PTA、地域の方と相談しながら増設していきたいと考えています。
32	小・中学生の通学路に暗いところが無くなるよう、街灯を設置する。	学校、PTA、地域の方と相談しながら防犯街路灯（街灯）の設置をしていきたいと考えていますので、危険な場所をお知らせください。
33	歩道を広げ、暮らしやすくする。	市では、町内会等からの要望を伺いながら歩道整備などに取り組んでいます。今後も皆さんからのご意見を伺い、暮らしやすい街となるよう取り組んでいきます。
34	働きやすいまちづくりをする。	若者の地元定着を進めていくためには、魅力的な職場の確保が必要です。働きやすく若者に魅力のある職場が市内にあれば、安心して寒河江市に住み続けることができますし、職場と家が近ければ通勤時間が少なくてすむため、時間を有効に使うことができますので、市としては若者が働きたくするような企業に進出してもらえるよう企業誘致活動を頑張っていく予定です。
35	社会福祉士が働きやすいよう、給料を上げる。	社会福祉士は、福祉や医療に関する相談援助に必要な専門的知識や能力を持っていることを証明する国家資格となっています。社会福祉士の職場は県・市町村の福祉職場や高齢者・障がい者・児童の施設、病院などであり、ソーシャルワーカーや生活相談員と呼ばれています。給料は各職場によって違いはありますが、一般的には、国家資格を持った専門職として業務上必要な資格であり、低額とはいえないと思われます。
36	目が不自由な方を含めた交通安全のため、歩道の段差をなくし、横断歩道の色を塗り直す。	原則として、自転車は車道の左側を走ることになっていますので、交通量が多く車道を走ることが危険なときや自転車通行可歩道以外では、車道（左側）を走行してください。歩道の段差や凸凹については、現場を確認するなどし、整備を検討していきます。
37	市内施設をバリアフリー化し、どの世代にも優しい魅力ある街にする。（温泉に車いすのまま入れるなど）	市では、市民の皆さんが市施設を安心・安全に利用できるよう管理運営に取り組んでいます。今後とも、施設をより快適に利用していただけるよう、バリアフリー化に取り組んでいきたいと考えています。
38	階段をスロープ化し、歩道が補装されていないところは補装して、高齢者が住みよい街にする。祭りの花火などの必要性を、市民アンケートし、不要な場合は中止して、費用に充てる。	市の建物については、これまでも階段の箇所にスロープを併設するなど、高齢者や障がい者にも配慮してきましたが、今後も誰にとっても利用しやすい環境づくりを進めていきます。また、町内会等からの要望を伺いながら歩道整備などに取り組んでいます。今後も皆さんからのご意見を伺い、暮らしやすい街となるよう取り組んでいきます。
39	街路灯をLED化して増設し、押しボタン信号を増やして、お年寄りに優しい道路を整備する。	防犯街路灯（街灯）は、市内全部LEDに切り替えました。また、暗くなる所には、学校、PTA、地域の方と相談しながら増設していきたいと考えています。また、押しボタン式信号機設置は、山形県警が行っています。交通量や歩行者数などから、信号機の新しい設置場所が決められるようです。なお、地域皆さんの意見として信号機の設置要望がある場合は、現場を確認して、市でも要望していきたいと考えています。

## 令和元年度 子どもたちからの市長への手紙・提言（中学校）

番号	提言	回答
40	長生きできる街づくりとして、60歳以上の医療費を安くする。	高齢化社会により医療費は年々増えています。医療機関窓口で支払う自己負担医療費以外の部分の財源は、保険に加入している方の保険料（税）と税金、若い世代の方の保険料（税）等で賄われており、自己負担医療費を安くすると自己負担以外の部分がさらに増え、保険料（税）等の負担も増えることにつながります。また、その方の所得に応じた自己負担の限度額制度が設けられており、負担が大きくならないような仕組みになっています。医療費がかからないように健康に関心を持ち、毎年健診を受け、健康づくりに自ら取り組むことが大切であり、そのための健康づくりに関するいろいろな事業を実施しています。
41	学校で、障がい者に関する講話（手話教室など）や介護マークの配布を行う。	講話や手話教室などの出前講座がありますので、開催日時など具体的な希望があれば可能な限り講師を派遣します。また、介護マークは、真に必要とされる方に対して配布する必要性があると考えています。よって配布場所は、要支援・要介護の段階や障がいの程度が判断できるハートフルセンターを交付窓口としています。
42	左沢線について、朝6時～8時など、通学・通勤の時間帯の本数を増やす。	市では、沿線市町とJR左沢線対策協議会を組織し、利便性の拡大に向けた取り組みを実施しています。運行本数や運行時間についても、協議会でJR東日本にお願いをしていきます。